

I 子どもたちの心を豊かに育む図書館

1 児童サービスの充実

- 【取組事項】
- ・成長(年齢)に合わせた選書を行う
 - ・ブックスタート・ブックスタートプラス事業を実施する
 - ・「おはなし会」やボランティアによる「紙しばい会」を開催する
 - ・移動図書館の巡回と「読み聞かせ」を実施する
 - ・団体貸出しや「調べ学習」などの資料提供支援を行う
 - ・ティーンズ向け資料の活用と情報発信
 - ・聖籠中学校との連携
 - ・司書教諭・学校司書との情報交換により、現状と課題を共有する

〈評価の指標〉

指標	平成26年度目標値	平成26年度実績	指標別評価
ブックスタート事業開催	実施	実施	A
「おはなし会」開催数	4回	11回	A
「紙しばい会」開催数	10回	10回	A
「読み聞かせ」の開催数	32回	31回	B
団体貸出冊数	17,674冊	10,518冊	C
移動図書館車貸出冊数	9,417冊	4,003冊	D
聖籠中学校との交流事業(有・無)	有	有	A
学校図書担当者会議の開催(有・無)	有	有	A

〈1次評価者記入〉

<p>【成果と課題】 新図書館開館に伴い、環境や職員体制も変わった中で、充実した児童サービスを実施することができたと考える。新しい企画や従来の継続事業についても、担当者同士の連携と情報交換により、スムーズに行うことができた。今後は、聖籠中学校との交流事業の実施や他の事業についても、内容に工夫を加え、充実させていきたい。</p>	<p>総合評価</p> <p>B</p>
--	-----------------------------

〈2次評価者記入〉

<p>【評価内容】</p> <p>団体貸出し冊数C評価、移動図書館車貸出冊数D評価は、新図書館が6月オープンとなり、2学期の短期間での評価のため問題はない。ブックスタート事業をはじめ、乳児向けの活動、「おはなし室」でのおはなし会、紙芝居会、上映会等低年齢層の読書への関心を高める取組は、おおいに評価できる。しかし、学校現場から中学生の読書量の少なさや読書の習慣形成がなされていないとの報告もある。</p> <p>今後は、図書館と校園が、一層、連携・協働し、聖籠町の子どもたちの実情に合った取り組みを進めてもらいたい。</p>
--

項目別評価票

Ⅱ 地域に根ざし、暮らしに役立つ図書館

1 図書館利用の推進

- 【取組事項】
- ・調査・レファレンスについて、親切丁寧なサービスを提供する
 - ・県内外の図書館と連携し、利用者サービスの向上を図る
 - ・わかりやすいサイン設置により、利用しやすい環境整備を行う

指 標	平成26年度目標値	平成26年度実績	指標別評価
入館者数	40,000人	62,139人	A
レファレンス件数	200件	67件	D
相互貸借数（貸出・借受）	250点	171点	C

2 図書館資料の収集提供

- 【取組事項】
- ・利用者ニーズに応じた資料の収集と提供を行う
 - ・郷土・行政資料のほか、町内立地企業に関する資料も収集提供する

指 標	平成26年度目標値	平成26年度実績	指標別評価
総貸出点数	85,734点	99,511点	A
有効登録者数	2,300人	3,140人	A
予約・リクエスト件数	1,500件	1,617件	A

3 情報発信の充実

- 【取組事項】
- ・広報・ホームページにより、積極的な情報発信を行う
 - ・テーマ展示やコーナー展示により、資料の提供を行う
 - ・「まち情報ギャラリー」を活用し、各種情報発信を行う

指 標	平成26年度目標値	平成26年度実績	指標別評価
定期的なホームページの更新（有・無）	有	有	A
テーマ展示実施回数	50回	64回	A
コーナー展示実施回数	15回	20回	A
「情報ギャラリー」活用（有・無）	有	有	A

〈1次評価者記入〉

【成果と課題】 新図書館となり、利用の大きな目安となる入館者数、貸出冊数は大幅に増えた。館内のテーマ展示は、常に新鮮で魅力的なものを心がけ「新」図書館らしい魅力を伝えることができた。また、ホームページの定期的な更新により、大きな情報発信ができた。今後は、課題解決のできる図書館として、レファレンスサービスの利用促進を図っていきたい。

総合評価

B

〈2次評価者記入〉

【評価内容】

入館者数は、目標数値を大幅に超えたのは大変喜ばしい。新図書館になりHPが新しくなり、利用サービスや、施設案内など分かりやすい構成で魅力的になった。館内展示もよく工夫されており、季節や行事によって、手作りの質の高さで職員の来館者を迎え入れる姿勢が評価出来る。このように親切丁寧なサービスを提供できており、大変魅力的な図書館になっているが、今後はさらに幅広い年齢層による利用促進の取組を期待する。

さらに広くなった施設のため、分かりやすい館内案内図やサインの他、カウンターでより気軽に聞けるレファレンスの体制と継続的な告知が必要である。今後も資料費の十分な予算付けを望む。

Ⅲ 誰もが集える図書館

1 利用環境の整備

【取組事項】 ・エリア別に快適な利用環境整備に努める

〈評価の指標〉

指 標	平成26年度目標値	平成26年度実績	指標別評価
安全・快適な施設管理（有・無）	有	有	A

2 各種事業の開催と支援

【取組事項】 ・所蔵資料を活用した講座や講演会を開催する
・趣味や作品発表など利用者の情報発信の支援を行う

〈評価の指標〉

指 標	平成26年度目標値	平成26年度実績	指標別評価
子ども向け事業の開催数	2回	2回	A
上映会の開催数	2回	4回	A
講座・講演会の回数	3回	3回	A
利用者への支援回数	2回	0回	D

〈1次評価者記入〉

<p>【成果と課題】 新図書館の施設の充実により、新たな事業を展開することができるようになった。上映会や親子対象の講座は、毎回好評であった。更なる施設の有効利用を図っていく必要がある。また、利用者が図書館で快適に過ごすことができるよう、日々、環境に配慮し、こまめな調整を図っていく。</p>	総合評価
	B

〈2次評価者記入〉

<p>【評価内容】 利用環境の整備では、館内を巡回し温度設定、ブラインド調整など利用者に対する気配りが感じられる。しかし、館外設備については、入口のサインや案内掲示板などに工夫が必要と思われる。 各種事業の開催と支援については、旧図書館ではスペース上、出来なかった親子工作教室や、上映会、講座、講演会が行われ目標数値を達成した。今後も創意工夫により、さらに魅力的な事業展開を望む。 会議室を使った趣味や作品発表など利用者の情報発信の支援については、開館初年度は忙しさに追われ企画する余裕がなくD評価であったため次年度に期待したい。</p>
--

項目別評価票

Ⅳ 資格を持った職員と町民が生き生きと活躍する図書館

1 職員の充実

- 【取組事項】 ・利用者サービスの低下を招くことのないよう適切な人員配置に努める
 ・職員の資質を高め利用者サービスの向上につなげる

〈評価の指標〉

指 標	平成26年度目標値	平成26年度実績	指標別評価
正規職員数	6人	6人	A
臨時職員数	5人	5人	A
パート職員数	5人	5人	A
職員研修実施回数（外部及び館内）	10回	13回	A
司書会議及び選書会議の回数	10回	18回	A

2 関係団体との協働

- 【取組事項】 ・ボランティア団体の活動を支援及び育成をして、利用者サービスの向上に努める
 ・図書館協議会の開催により意見提案を求める

〈評価の指標〉

指 標	平成26年度目標値	平成26年度実績	指標別評価
ボランティア活動日数		150日	
図書館協議会開催日数	5回	5回	A

3 町民の意見反映

- 【取組事項】 ・「みなさんの声」による要望に適切に回答反映させる
 ・普段からコミュニケーションを図り利用者ニーズを意識する

〈評価の指標〉 なし

指 標	平成26年度目標値	平成26年度実績	指標別評価
「みなさんの声」投稿数		13件	

〈1次評価者記入〉

【成果と課題】新図書館開館にあたり、ボランティアの力は大きな原動力となった。ご意見箱の設置や図書館協議会の開催は、図書館運営の見直しに役立っている。より質の高い図書館サービスを提供するため、職員一人一人のスキルアップを図っていきたい。	総合評価 A
---	-----------

〈2次評価者記入〉

<p>【評価内容】</p> <p>職員の充実については、すべての項目において目標値を上回り大変良好である。しかし、利用者の土日の開館時間延長の要望もあり、今後も利用者サービス向上のためにも、職員増員を含む勤務体制の改善改良を望む。</p> <p>関係団体との協働については、ボランティア室が設けられ、気軽に使用でき活動しやすい環境になり、居心地のよい図書館になったが、活動維持費などの予算付けも必要である。</p> <p>町民の意見反映については、個人的内容でない限り、すべて掲示板などで周知し、今後も適切に答え対応されたい。</p> <p>図書館協議会での利用者としての率直な意見を容易に評価できるよう、評価項目や書式等の改善を望む。</p>
--